



「選択の幅が広がる」という期待の声も多いのですが、商店街や地域が寂れることで、高齢者の生活や子どもの安全や成長に心配の声が

これ以上の大型店出店は まちづくりにマイナス ではないでしょうか



ポスフルは、2007年度にも市内に出店する計画を表明し、市と商工会議所に協力を要請しました。これ以上大型店が出店すれば、市内商業の経営と雇用への影響はもちろんのこと、市民生活とまちづくり全体への影響ははかりしれません。ともに考えましょう

まちの声を紹介します あなたは賛成？反対？

- (反対意見) 血税で寄付した土地を商売に使わせるのはおかしい
高齢者には近くのスーパーや商店が便利。店を維持して欲しい
大型店は多すぎて、地元の店がたいへん
- (賛成意見) 大型店同士が競争して良い方が残ればよい
買い物の選択の幅が増える
滝川が断つても、近隣に来る。止められない



地域が元気なまちは お年よりや子どもも安心

「近くのスーパーや店がなくなるのでは」と、新たな大型店の影響を心配する声が多くあります。徒歩や自転車で行ける距離に食料品店や公共施設を守ることは、高齢化する街づくりの条件です。

民家が近くになく、しかも24時間など長時間営業の郊外型大型店は、青少年にとって安全な場とは言い切れません。人の目が届く地域の店の役割が見直されているのではないのでしょうか。



商店街がポスフル出店反対の意見書を提出

滝川市商店街振興組合連合会と8地区商店街振興組合は、田村市長に「ポスフル出店に関する反対の意見書」を提出しました。

意見書の要旨

- ☆大型店のこれ以上の拡大は、既存商店街と都市機能に壊滅的影響を与え結果として市民の利便性は低下する。
- ☆街づくりの考えが欠落した学校用地出店は問題。
- ☆売上金が中央に吸い上げられる大型店は、地域循環型経済に逆行する。
(意見書全文は、6要旨で1300字以上です)

大型店規制は 世界の流れ

「フランス・イタリアは、ガットを留保し、大型店出店調整を行っている。日本と同様ガットを批准しているイギリス・ドイツも都市計画の観点から立地要請をおこなっている」

(日本商工会議所など全国4団体の政府への要望書から)

生活相談所 のご案内



お気軽にお電話を。無料弁護士相談も実施しています。

清水 雅人	空知町1-5-2	23-7924
窪之内 美知代	江部乙町東10-13	75-2557
酒井 隆裕	西町5-6-29	23-5898
日本共産党北空知地区委員会		23-0231

これ以上の大型店出店は まちづくりに逆行

「駅前に活気を戻してほしい」「家の近くの食料品店や雑貨店が便利」「商店街ももっとがんばってほしい」「夜や日曜祝日など営業時間を長くしてほしい」「老後は住み慣れた場所でくらしたい」など市民の願いは様々です。こういうなかで商工業者は、市の支援も受けながら、まちづくりに地道な努力を続けています。

- 駅前活性化
たきかわホール、スマイルビル地下広場、無料駐車場など
- 手作りイベント
たきかわ夏祭り「五感」、ジンギスカン王国「滝川うメェー」、長時間ライブ盆踊り、かやぎに祭り、花火大会、元気夕市・・・
- 新規出店などへの支援
チャレンジショップ、はてい、産業振興サポート事業、駐車場補助、各種融資
- 地元の店で高齢者や障害者も安心
地元スーパーや食料品店、衣料品店、電器屋、カメラ店、クリーニング店、菓子店、酒屋、寝具店、眼鏡・時計・貴金属店、スポーツ用品店、薬局、金物屋、米屋、はんこ屋、パン屋、文房具店、靴・かばん屋、小物雑貨店、鮮魚店、八百屋、コンビニ・・・などたくさんの店が、不況と大型店進出のなかで地域とともにがんばっています。